

こむ1会 運営委員会 会議録

日時： 2021年9月10日(金曜) 14:00~16:10

場所： ぷらざこむ1の21AB会議室・ZOOM併用

進行担当： 前年度継続の運営委員(東、榎本、原、三島、村中)

出席委員： 高原(情報ボランティア)、岡田(専心会)、角田(絵芝居)、佐々木(武庫川づくり)、山本(武庫川流域圏)、中下(エリアナウス)、榎本(個人)、三島(個人)、中小路(個人)、村中(個人)、伊藤(ふあみりい劇場)、村井(売布まち協)、小林(シニアマジック)、野村(エルライン)、田中(友の会)、三宅(こまどり)、油井(広域ボランティア)、関戸(第3民児協)、東(個人)、小島(第6民児協)

欠席委員： 大西(さわやか)、荻野(ゆめふうせん)、前田(一致バラ)、真下(つながりづくり)、門内(うらら)

参加者： 岡本(財団)、沼田(ボラセン)、金子(はっぴーばーばら)、原(ランチボックス)

※インターネット接続トラブルにより、約30分遅れての開始となった。

1. 出席者の自己紹介(所属と名前の確認)・出席者確認

議事内容が多いため、所属と名前の確認のみ行った。

2. 連絡報告 定期総会2021年度の報告・ふりかえり・改善提案

「2021年度こむ1会定期総会議事録」を用いて説明があった。総会は議事説明と質疑応答を8月28日(土曜)オンライン(ZOOM)にて、採決は書面決議にて9月4日(土曜)に行ったところ、57グループ内43グループ、6個人内3人から意思表示があり、第1号議案~第6号議案のすべてについて、議案資料のとおり可決されたとの報告があった。

総会資料に記載漏れの報告があった。こむ1会に依頼され参加している外部会議として「ボランティア活動センター運営委員会」の記載漏れがあった。総会直前の運営委員会にて資料の確認を行った際に、ボランティア活動センターからも指摘がなかった。過去の運営委員会の会議録にもボランティア活動センター運営委員への着任した際の記載がなく、連絡報告されたのか不明であるが、情報共有の不足が根本的な原因なので今後は改善すべきだと意見があった。

3. 連絡報告 2020年度の運営委員会からの意見や改善提案・ふりかえり・引き継ぎ

前年度の運営委員からの意見や改善提案(資料参照)および発言があり、それら意見を踏まえて運営委員からの質問や意見があった。

- ・ 運営委員会、こむ1会の活動について：全会員が等しく分担すべき内容と、それ以外の内容とを活動内容を選び分けて、分担すべき活動には参加を強制すべき。まったく参加せず、関わっていないグループ(運営委員になっても出席しない等)がいるのは問題だ。ぷらざこむ1の利用者の会であり、互いに協力し合っていく組織である、運営委員会はその要。運営委員が輪番で当たった2年の任期中は、運営委員に選任された者は責務として関わる必要がある。運営委員になってみて、運営委員がいることで利用しやすい、ぷらざこむ1になっているのだと実感した。利用者および全会員の意見を吸い上げる仕組みを改善していくべき、運営委員会の見える化や運営委員会のように小さい班(グループ化)をして、つながりを持てる仕組みが必要。

- 前年度の運営委員会での会議進行班について：司会や議事録作成や準備、議事や問題提起を集める事務係を輪番班（班内の結束力もでたり）で関わることで、運営委員会への参加意識、みんなで協力する意識が高くなった。特定の人に負担をかけずに、全員で分担する仕組みは良かった。仕組みを活用して意見をまとめて班内まとめた際には、運営委員会内の議論をスムーズにできた、意見も班の中では少人数なので発言しやすかった。コロナ禍で大変な中、（オンラインという新スタイル）ZOOM 会議が上手くいったのも班の仕組みがあったから、もし班が無かったら一部のできる人に負担が集中したのでは。

運営委員からは前年度同様に班の仕組みを継続して欲しいという意見でしたが、改善点としては以下の意見があった。班員の分け方によるところもあるので、班員構成の工夫が必要。班長等で班内に進行な上手な方が居たから良かった。班員に休む人が多い班だと班内に仕事が多くなる（偏る）。新旧運営委員（経験者と未経験者）が混ざるように。活動ジャンル、目標や関心が似ているグループ。班員分けはくじ引きでも良い。
- 運営委員会の開催日程について：仕事している人は、平日の昼時間帯だと出席しにくいので、固定する曜日（例：毎月第2週目の土曜日）や夜間の時間帯（19時以降から開始する会議）の変更も検討すべき。
- ワーキングについて：名称や定義が曖昧で分かりにくい、総会でも同様な意見があった。終わりのある課題解決型の集まり、目的や達成目標（ゴール）を明確にすべき（例：運営委員会への提案までの役割とする）、提案を実行する際には運営委員会で図り賛同を得た後に改めて関わる人を募って（実行チーム）動く。
- スケジュール管理の悪さ：新運営委員の候補選出が総会の開催時期直前で、こむ1会の事業計画（総会議案）の作成が前年度の運営委員のみで策定する状態、新運営委員との引き継ぎするタイミングも不明確で任期終了の運営委員が何ヶ月も継続して運営委員会に携わっている。運営委員会の議事（重要な決定しなければいけない事項）が先送りになったりする一方で、直前に議事提案された事項から審議したりしている。
- 役員決めについて：会計も以前の形態を変更して1人から2人の担当にしたことで、未経験だったが複数人で助け合えたのでやっていくことでできた。次年度は前年度からの継続している運営委員（旧運営委員）が行うという決定にする。前年度以前は、ベテラン中心の役員構成になっていた、やってくれる人にやってもらえば良いじゃないかと他人任せになっていたし、ベテランの人も、自身はやっても良いからと長くするのではなく、交代していく姿勢を持つことが必要。PTAや自治会等でも、新任のみの構成で成り立ってきているので新任だからできないことはない、半分交代など方法を考えれば良い。運営委員会に入る人が所属グループ内で輪番にまわしているの、役員は引き受けにくい。新しい人、新しい考え方が増える組織が理想的。新しい人が携わりやすい雰囲気が必要（ベテラン勢が中心いるとやりづらい）。理念は素晴らしいが、自然発生的には難しいので世代交代を実行する仕組みが必要。
- 運営支援する人を増やす取り組みについての提案意見：運営委員だけで活動していくには難しいこともある、技術が必要なこと（専門性）や継続していく技術がいること（継続性）。運営委員会を助ける人たちを、全会員から支援者を募る仕組み、運営委員以外で運営に関わる（助ける）グループをつくって動かすため（機能させる）には、しっかり位置づけていく必要との意見が出た。

4. **議事**事業計画について（年間スケジュールの検討）

前年度の運営委員会において、コロナ禍の影響もあり活動計画が見通せなく、活動が手探

りになったことから、計画予定の年間スケジュールを作ってはどうか、との提案があった。

5. **連絡報告**定期連絡・定期報告について

(1) こむ1会

- ・ 施設見学案内の依頼

売布小学校2年生(4クラス)が宝塚福祉コミュニティプラザ内の施設見学、10月6日(水曜)と7日(木曜)の10時~10時20分と10時40分~11時の4回で、ぷらざこむ1施設案内の依頼があった。運営委員から対応できる有志で行う、募集など調整担当は村中さん。

- ・ 宝塚市社会福祉協議会評議員会の参加報告(宝塚市自然保護協会)

宝塚市自然保護協会(東さん)から、社協評議員の研修会(8月31日)への参加報告および、次回の評議員会の開催予定(9月29日)との報告があった。

- ・ こむ1会のプリンター故障

インクジェット複合機が、前年度末に故障して使用不可能になった。前年度8月の運営委員会で交換購入に向けた提案を募ったところ、機種別の提案があった(以下記述を参照)。

- ・ 新規グループの受付時に行き違いが発生した件

こむ1会の入会の申請方法やタイミング(財団からの情報伝達待ち)が曖昧なことで、新規グループの入会が遅れたと報告があった。現状は財団への登録された情報(ぷらざこむ1利用登録)を、こむ1会は情報伝達を待つ仕組みであるが、一方で個人での入会希望はこむ1会に直接申請する仕組みになっていた。グループの代表者変更の情報伝達が行き違ったりしているため、こむ1会として入会届を改定、整備することになった。

- ・ 「受付ボランティア」会議(2021/09/11)について

関戸さんが出席することになった。

- ・ こむ1会で借りているロッカー・倉庫について

これまで継続して、ロッカーと倉庫を借りて来ていたが、前年度の運営委員会で継続して費用支出すべきか検討できなかったため、現時点では継続申請をしてない。こむ1会の会費から支出なので必要性を検討すべきであり、こむ1会事務スペースのキャビネットを整理してはどうか、との意見があった。

(2) 公益財団法人プラザコム から

- ・ 3階フリールームの利用申請については、次回に審議。

- ・ 兵庫県緊急事態宣言延長について、現行通りですとの説明があった。

- ・ ぷらざこむ1の登録更新について、全57グループの更新と再登録グループ(童話の会おはなしのさんぽみち)計58グループの登録が報告された。

- ・ 2022年の休館日について、日曜日の休館を第2週目から第4週目に変更したいとのカレンダーの提案があった、日曜日の利用グループのみには変更点を伝えた(資料参照)。運営委員会としては、休館日等の利用ルールが変わる時には、全グループに伺いを行って欲しい、変更することでグループ活動に影響があるかもしれないので、休館日カレンダーの提案への回答については、次回に行う。

(3) ボランティア活動センター から

- ・ 「ちょボラだよ！全員集合」 10月7日（木曜）と10月14日（木曜）の10時～12時、ボランティアを考える人の背中を押すための講座。興味のある方への声掛けをお願いしたい。
- ・ コロナ禍における活動グッズ配布について、みんなボランティア9月号に同封の申請用紙にて受付。締切は9月30日（木曜）を厳守。

6. **議事** 役員選出（代表・副代表・総務・会計・会計監査）

前年度の運営委員の任期は実質半年（2021年1月～7月）であったので、もう1年間を引き続き、前年度の役員の方には継続して欲しいとの提案があった。前年度の役員からは、同じ人が長期間継続するのは好ましくなく、新しい人へと交代することを繰り返して多くの人が関わり協力する組織になるべきだ、前年度の任期の実質が短く公平性には掛けているとは思っていたので今年度のみ引き受けるとの意見があった。

代表：東さん、副代表：三島さん、総務：村中さん、会計：高原さん・中下さん
副代表1名、総務1名、会計監査2名の選出については決まらず、次回となった。

7. **議事** 運営委員会の進め方（開催日程・連絡会議・議案の受け付け方・役割分担など）

日程について：前年度の毎月10日13時30分～15時30分について、平日になることが多く、会社等で働いている委員が参加しにくい状況ではないかと、変更の検討を求める意見があった。2021年10月10日は日曜日なので、次回の開催日にして、当日の参加人数を参考に、今後の検討をする。

班の決め方について：具体案がまとまらず、運営委員内の班決めは持ち越しになった。

8. **審議** プリンターの購入提案・会計支出の進め方について

プリンターの購入提案：運営委員会等の準備のために、こむ1会としてはプリンターが必要として、印刷速度が早いレーザー複合機が提案された。カラー印刷できる機種は高額であり、前年度よりカラー印刷頻度がほとんどないため、モノクロでA4印刷できるレーザー複合機の購入と故障したプリンター廃棄費用も含めて、予算25,000円で承認。

会計支出の進め方について：前年度同様の方法を継承し、こむ1会のお金の使い方については、運営委員会に図っていくことを基本に、消耗品の補充購入については、総務が購入ルール等に基づき行う進め方で承認。

9. その他

- ・ 議案、次回繰り越しになった案件および今後の運営委員会の日時等について
運営委員は、意見を9月/30日（木曜）までに、こむ1会メールアドレスへ提出。こむ1会メールアドレス：com1kai.takarazuka@gmail.com
現状で決定した役員を中心に、運営委員からの意見の取りまとめを行い、次回以降の運営委員会のスムーズな進行（次回へ先送りとすることなく、時間内に議事や審議が完了する様に）への対応策を検討する。
- ・ 次回の運営委員会への連絡報告事項および提案事項は、連絡会議に提出（こむ1会メールアドレスで、9月30日（木曜）までに）

10. 次回の運営委員会について（日程・場所・進行担当）

開始日時：10月10日（日曜）13：30～